

DNA型情報の法制化を求める会 講演会

佐賀県警

ビックリ！

刑事裁判の根幹が問われている

実は

科捜研 130 → 239 不正鑑定 件

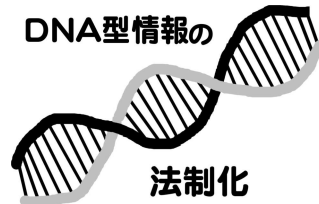
それでも第3者による検証を拒む佐賀県警

2026年 12月5日(土) 13:30開場

14:00~16:20

労働会館本館会議室

(名古屋市熱田区沢下町9-7 金山総合駅徒歩10分)



参加
無料

定員130名

なぜ佐賀科捜研でDNA型不正鑑定は起きたのか

いでぐち そういちろう 佐賀県弁護士会所属
講師：出口 聡一郎 弁護士 前会長

昨年、佐賀県警科捜研で、DNA型鑑定について、7年間で130件も、鑑定を行っていなかったり、データを改ざんしたなどの事件が発覚しました。

さらにことし6月に警察庁の特別監察で、239件もの不正があったことが明らかになり、刑事裁判の根幹をも揺るがしかねない事態となっています。

しかし警察庁は「信頼回復に努める」と述べる一方で、客観的な第3者の調査も拒否しています。

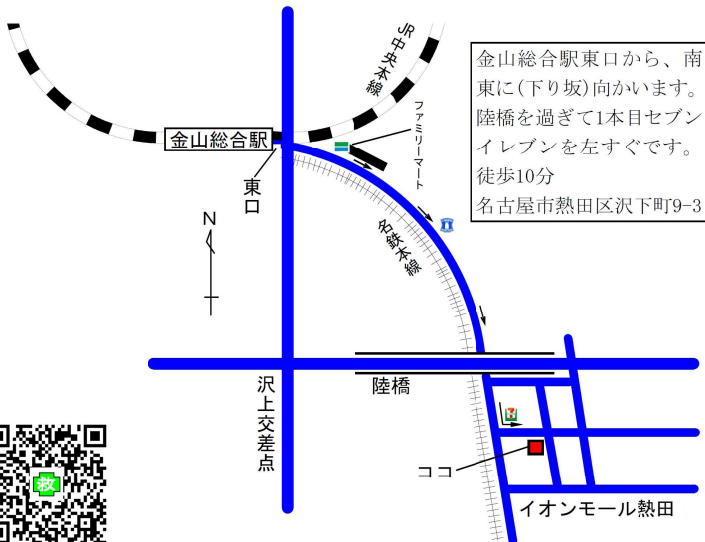
今回は現場で、警察の不正と闘う、佐賀県弁護士会の前会長である、出口聡一郎弁護士をお招きして、事件の実態に迫ります。その他、企画計画中。



■講師プロフィール■

1977年神奈川県生、Athens Drive High School(米国)卒業、九州大学法学部卒業、2007年弁護士登録(佐賀県弁護士会)、2011年1月すず風法律事務所開設。2025年4月佐賀県弁護士会会長(1年間)。

刑事事件、交通事故事件を中心に、一般民事全般、少年事件等の業務を取り扱う。特に刑事事件において実績があり、これまで無罪判決を8件獲得している。



主催：DNA型情報の法制化を求める会

救 援 新 聞

[1958年6月10日]
第三種郵便物認可

事務局：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26-401 日本国民救援会愛知県本部内 TEL052-684-5825